

2024年度 一般社団法人日本臨床検査医学会 臨時社員総会 議事録

日時：2024年11月28日（木）16：30～18：00

会場：グランキューブ大阪 10F 会議室 1003（第4会場）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

I 開会

II. 理事長挨拶（大西宏明 理事長）

開会に先立ち、2024年3月3日に逝去された功労会員の高柳尹立先生（享年94歳）、4月11日に逝去された白石透先生（享年93歳）、6月10日に逝去された名誉会員の中原一彦先生（享年79歳）を悼み黙祷が捧げられた。

当法人定款第21条により大西宏明理事長が議長となり、定時社員総会の決議にあたり社員数182名のところ社員出席、議決権行使、委任を合わせて半数を超える（約130名）ため、定款第24条により臨時社員総会での決議は成立することが報告され、代表理事のほか、評議員の柳原克紀先生を議事録署名人と定め議事を進めた。

III 報告事項

1. 各種委員会活動報告（森兼啓太 総務理事）

2024年度各種委員会中間活動報告について、各委員会のまとめが資料として用意され、次項のとおり報告された。

1) 編集委員会（委員長：下澤達雄、担当理事：吉田 博）

①2023年度発行の本学会機関誌（国内誌）に出版された論文を対象に優秀論文賞の審査を行い、1名の受賞者候補者（次点候補者2名）を選考した。

②Laboratory Medicine International (LMI)の3巻1号（3月）、2号（6月）と3号（9月）を発刊した。

④LMI専用のWEBページを作成中である。

⑤投稿論文の論文審査について検討を行った。

⑥日本臨床検査医学会誌のトピックスの立案を行った。

⑦国内誌のPUBMED掲載の再開について申請を行った。（現時点で掲載再開未承認。）

⑧ScholarOne Manuscriptsの来年度契約と国内誌のJ-STAGE搭載について検討し予算化された。

⑨第12回日本医学雑誌編集者会議（JAMJE）総会・第12回シンポジウムが2024年2月6日に日本医師会館大講堂で現地開催された。テーマは「AIと医学雑誌編集」で、下澤副委員長が出席した。

2) 教育委員会（委員長 植木重治、担当理事 山崎正晴）

①【主催】日本臨床検査医学会 第79回関東・甲信越支部例会 RCPC（領域講習2単位）2024年5月25日、出題者：松本剛、回答者：野村祐希、福島理文

②【共催】第1回医学生・研修医のための臨床検査セミナー（指導医講習2単位）2024年7月28日、主催：ワークライフバランス委員会・九州支部 講師：松本剛、橋口照人 ファシリテーター：山口宗一、金子誠、松下弘道、常川勝彦、植木重治

③【第71回日本臨床検査医学会学術集会 教育委員会企画】2024年11月30・31日

RCPC（指導医講習各1単位・予定）、RCPC1 座長：上岡樹生・中村文彦、出題者：山本さやか、回答者：川村良一・松永絢乃

RCPC2 座長：常川勝彦、出題者：松本剛、回答者：根木翼・小玉美幸

Catch Upセミナー（領域講習各1単位・予定）、セミナー1 司会：松下弘道 演者：堀田多恵子

セミナー2 司会：志村浩己 演者：小飼貴彦、セミナー3 司会：山口宗一 演者：野村恵巳子

3) 保険診療委員会（委員長：松下一之、担当理事：森兼啓太）

①令和8年度診療報酬改定について、日本臨床検査専門医会と協働して日本臨床検査振興協議会に提案書を提出した。

②医療DXに関連して、HL7-FHIRに必要なJLAC10/11の検査室における導入について、いわゆる3文書6情報に記載されている43項目の項目検査と感染症5項目を合わせた48項目について日本医療情報学会と導入のための検体管理加算について協議中。

③日本医師会医療保険課から打診を受けた、体外診断用医薬品の供給停止品目に係る検討を随時行い、本学

会事務局を通して日本医師会医療保険課に回答している。

4) 学会賞委員会（委員長：飯沼由嗣、担当理事：井上克枝）

- ①2024年8月5日（月）に Zoom 開催された学会賞選考委員会で受賞候補者を選出し理事会に報告、理事会にて受賞者が決定された。受賞者は下記の通りである。学術賞（上籙義典氏）、検査・技術賞（該当者無し）、若手研究者奨励賞（酒井康弘氏）、優秀論文賞（大枝 敏氏）。
- ②2023年度より募集要項を変更し、学術賞と検査・技術賞のどちらかの賞のみ受賞できることとしたが、以後検査・技術賞は応募が無い状況である。検査・技術賞の応募を促すための方法について検討を行うこととなった。

5) 学術推進化委員会（委員長：浅井さとみ、担当理事：井上克枝）

- ①2024年度 学術推進プロジェクト研究として14課題の応募があり、2課題を採択した。
- ②2023年度採用 学術推進プロジェクト研究課題の中間報告3課題を受理した。
- ③2024年1月「2024年度学術推進プロジェクト研究課題応募開始のお知らせ」を全会員に向けてメール配信した。
- ④2022年度学術推進プロジェクト研究課題採択者2名は11月の学術集会（大阪）で最終報告の発表をいただくことを予定している。

なお、最終報告書と会計報告書の提出期日は本年11月30日、論文投稿期日は2025年2月末日である。

6) 標準化委員会（委員長：木村孝穂、担当理事：増田亜希子）

- ①Lp(a)のハーモナイゼーションおよび標準化作業は検体測定が無事に終了し、現在データ解析中。
- ②Cペプチド標準化は10月12日に検査体測定予定。米国ミズーリ大学から提供された検体と合わせて測定する予定。
- ③日本内分泌学会からのIGF-1測定値の報告に関する問い合わせに日本臨床化学会と協議の上、対応。
- ④以下の問い合わせに対応：a)TSH、FT4のハーモナイゼーション b)基準範囲設定。

7) 精度管理委員会（委員長：小池由佳子、担当理事：堀田多恵子）

- ①CAP国際臨床検査成績評価プログラム中間報告：本年度の申込みは、135施設（新規：+6施設／中止 - 34施設）となった。中止した施設の多くが、前年に同じくSARS-CoV-2サーベイ参加施設であり、中止理由は、他団体のサーベイに参加するという内容の他、新型コロナウイルスが5類感染症に分類されたことで検査自体が減ったこと等が挙げられた。
- ②臨床検査室グローバルニュース報告：季刊誌として年4回ペースで発行している。発行部数は毎号約9,000部である。引き続き記事の確認、英文翻訳の校閲を行っていく予定である。

8) EBLM委員会（委員長：佐藤正一、担当理事：下澤達雄）

- ①第1回EBLM委員会を5月1日（水）に開催し、委員会メンバーの再編と今年度のシンポジウムおよびハンズオンセミナーのテーマと内容について協議を行った。シンポジウムでは、新しい技術の紹介とデータ解析の実用的な内容を計画し、ハンズオンセミナーでは、実践的なAI学習を実施することとした。

9) 倫理委員会（委員長：木村孝穂、担当理事：柳原克紀）

- ①第71回日本臨床検査医学会学術集会で委員会企画を予定。残余検体の取り扱いに関する倫理的留意事項に関する内容。講師は本学会倫理委員会委員の佐藤雄一郎先生（東京学芸大学）、木村孝穂（群馬大学）。
- ②学術集会の演題発表に関する倫理的手続きの指針（案）を作成。

10) 利益相反委員会（委員長：山崎正晴、担当理事：柳原克紀）

- ①日本医学会第8回研究倫理教育研修会（2024/5/7）への参加
委員長が同会に参加し、学会の利益相反管理に関する情報収集を行った。
- ②第71回学術集会での委員会企画の概要
2024年11月29日（金）14:15～15:45に、テーマを「今、求められる利益相反管理とは？」として、委員会企画を予定している。

11) ガイドライン作成委員会（委員長：田中靖人、担当理事：吉田 博）

- ①ガイドライン作成委員会で決定されたガイドライン執筆者に依頼をかけ、2024年9月末現在、93編中85編の著者校正が終了し、順次査読が進んでいる。
- ②今年度は計14件の転載許諾依頼があり、内容を確認のうえ慎重に検討し許諾した。なお、今年度から商用目的の転載は有料とすることになった。
- ③日本医学会連合 第2回診療ガイドライン統括委員長会議 2024年9月6日開催。COI（個人、組織）及びガイドライン策定参加基準ガイダンス改訂など報告された（出席：大西理事長）
- ④2024年10月末に、JSLM2024 臨床検査のガイドラインの表紙デザイン案ができ上る予定であり、第71

回学術集会（大阪）に向けて発行を目指している。

⑤第71回学術集会（大阪）会期中の11月29日（金）9：00～10：00に委員会が開催される。

12) 検査項目コード委員会（委員長：内海 健、担当理事：松下一之）

①JLAC10 コードについて、新規登録として分析物コード6、識別コード1、結果識別コード54の計61、補足事項追記を含む変更として分析物コード4、識別コード3、

材料コード2、測定法コード2、結果識別コード（共通）4、結果識別コード(固有)12の計27を行った。

②JLACセンター（康センター長）が開設され検査項目コード委員会との協力体制が強化され、「JLACセンター付番部門審議委員会」にて新規体外診断薬を中心にしてJLACコードの付番を行っている。

③JLAC11 コード表について、2月に日本臨床検査医学会ホームページ上にて情報を公開した。随時更新継続しており、10月までに新規登録として測定物コード

109、識別コード12、測定法コード1745の計1866、補足事項追記を含む変更として測定物コード3、材料コード1、測定法コード112、結果単位コード112の計116を公開した。

13) 広報委員会（委員長：千葉泰彦、担当理事：下澤達雄）

①Instagramの発信開始（5月）。

②レジナビフェアに当学会として初出展（6月16日：東京）。計42名の医師・医学生が来訪。「大学の講義で全く臨床検査の話を聞いていない、実態を知りたい」という医学生が少なくなかった。

③JACLaS EXPOでブースを出展（10月4日～6日：横浜）。掲示物：臨床検査業務の紹介、学術集会のポスター、新たに作成したポスター「チーム医療の中心 臨床検査医」等。

14) 臨床検査室医療評価委員会（委員長：松下弘道、担当理事：堀田多恵子）

①日本医学会連合門田班（臨床内科グループ）（以下門田班）からの依頼で2023年11～12月に行なったアンケート調査「ポストパンデミックの臨床検査体制」の結果を2024年3月19日に開催された門田班の研究結果報告会で報告した。また、その内容の一部を第71回日本臨床検査医学会学術集会にて発表する。

15) 遺伝子委員会（委員長：松井啓隆、担当理事：松下一之）

①2024年度学術集会において、委員会企画「網羅的遺伝子関連検査の実際：実務者の視点から」を開催予定。遺伝子関連検査に従事する多職種の方々より実務に関する講演を頂く。

②日本遺伝性腫瘍学会刊行予定の「遺伝性腫瘍に関する多遺伝子パネル検査(MGPT)の手引き」について、本委員会委員が執筆担当するとともに、草案の外部評価を実施した。

③日本臨床検査振興協議会「遺伝子関連検査に関する小委員会」に本委員会からメンバーとして参画し、がんゲノム、MRD、難病ゲノム、LDTなどについて意見交換・情報共有を行った。

④本委員会委員を中心として、全ゲノム遺伝子解析を伴う検査の精度確保に関するワーキンググループのメンバーを招集し、本件に関する意見交換と取りまとめを実施している。

16) 国際委員会（委員長：下澤達雄、担当理事：井上克枝）

①2024年度国際学会奨励賞受賞候補者を選考し山崎あずさ、太田悠介、宮腰恒広の3氏を受賞者として推薦した。

②World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine (WASPaLM) 2024 (Oct 16-20, 2024、トルコ)におけるJSLMセッション Novel Perspective and Recent Progress in Laboratory Medicineにて、村上正巳先生 Taner Özgürtaş 先生座長の下右田王介先生 (Early Diagnosis and Early Treatment for Neonatal Genetic Diseases)、松下一之先生 (In-house Developed Multi-Gene Panel Testing for Hereditary Cancers and its External Quality Assessment/proficiency Testing (EQA/PT))、石毛信之先生 (The Application of Mass Spectrometry to Newborn Screening and Diagnosis of Inherited Metabolic Diseases in Japan) 下澤達雄国際委員会委員長(Urinary Biomarker Hunting by LC/MS-omics. Example of Food Allergy) が講演を行った。

③2024年度 ASCPaLM 学術集会に本学会役員のうち了承の得られた先生方のメールアドレスを提出した。また、"Blood Supply and Availability" のセッションにて金子誠先生 (Ensuring the Safety and Availability of Blood Supply in Japan: Risk Management and Countermeasures) にご講演いただいた Makoto Kaneko, Mitsui Memorial Hospital, Japan

17) 医療安全委員会（委員長：三枝 淳、担当理事：森兼啓太）

特になし。

18) 会則改定委員会（委員長：浅井さとみ、担当理事：増田亜希子）

①本年における承認事項なし

19) チーム医療委員会（委員長：小谷和彦、担当理事：山崎正晴）

①パニック値の検討；パニック値の運用に関する提言（公開中）への照会対応。パニック値の全国調査の集計と報告。

②チーム医療における臨床検査とその専門家の役割に関する検討の継続。

③第 71 回学術集會会期中に委員会企画「パニック値アップデート 2024」を開催する。

20) 学術集會企画委員会（委員長：吉田 博、担当理事：柳原克紀）

① 第 71 回学術集會は 2024 年 11 月 28 日（木）～12 月 1 日（日）の日程で大阪市（会長：日野 雅之）にて現地およびオンデマンド配信で開催される。

② 第 72 回学術集會は 2025 年 8 月 28 日（木）～31 日（日）の日程で千葉市（会長：大西 宏明）にて現地&オンデマンド配信で開催予定。

③ 第 73 回学術集會は 2026 年 12 月 17 日（木）～20 日（日）の日程で千葉市（会長：吉田 博）にて現地&オンデマンド配信で開催予定。

④第 74 回学術集會の集會長については森兼啓太先生（山形大学）が理事会で推薦された。

④第 71 回学術集會期間中の 11 月 30 日（土）11：00～12：00 に委員会が開催される。

21) ワークライフバランス委員会（委員長：西川真子、担当理事：松下弘道）

①7 月 28 日に「第 1 回医学生・研修医のための臨床検査セミナー」を web 形式で行った。参加者は医学生 3 名、医師 103 名（うち初期研修医 15 名、臨床検査専攻医 22 名）であった。

②第 71 回学術集會で、委員会企画を行う予定である（前半：「ライフイベントと仕事：両立できたか？できるのか？」、後半：「検査医の集い：対面懇親会」）。

③臨床検査専門医取得に関するサポートセンターには継続的に相談対応をしている。件数は男性 7 名、女性 4 名。

22) 統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会（委員長：湯地晃一郎、担当理事：堀田多恵子）

①標準企画 HL7 FHIR に関する日本医療情報学会 NeXEHRs 課題研究会に堀田担当理事、湯地委員長、市村委員が参加。

②生活習慣病関連 9 臨床団体拡大会議に湯地委員長がオブザーバー参加（6 月 6 日）。

③2024 年度第 1 回委員会を学術集會会期中に開催予定（11 月 30 日）。

④第 71 回日本臨床検査医学会学術集會にて委員会企画「医療 DX と臨床検査の展望」を開催予定（11 月 30 日）。

23) 地域医療における臨床検査に関するアドホック委員会報告

（委員長：小谷和彦、担当理事：森兼啓太）

①臨床検査専門医の地理的分布や施設種、および臨床検査分野の地域医療貢献に関する検討の継続。

②臨床検査専門医の所属する地域と施設に関する（学会 HP 上への）情報公開（進行中）。

24) ICD-11 委員会（委員長：後藤和人、担当理事：吉田 博）

①社会保障審議会統計分科会 ICD 専門委員会に後藤委員を派遣した。

②厚生労働省から依頼のあった ICD-11 改正内容および ICD-11 for MMS の追加・変更分の和訳の確認作業について回答を行った。

③第 27 回社会保障審議会統計分科会 ICD 専門委員会にて、「ICD-11（2023 年 1 月版）の分類の表記に用いる用語（代表語）の和訳案」が承認されて、厚生労働省のホームページに公開された。

25) 感染症に関する委員会（委員長：柳原克紀 担当理事：森兼啓太）

①今後の感染症検査の方向性について協議する委員会として、新型コロナウイルスに関するアドホック委員会から発展的に設立された。

②2024 年 5 月 29 日（水）に第一回会議を Web 形式で開催した。

③今後の活動として、他学会や他委員会との連携しつつ、教育的活動、保険制度・診療報酬における問題点の抽出と働きかけ、遺伝子検査の有用性の啓発、精度管理事業などについて活動する方針となった。

26) 遺伝子検査認定医・専門医に関するアドホック委員会報告（委員長：松井啓隆、担当理事：松下弘道）

人類遺伝学会・遺伝カウンセリング学会・遺伝子診療学会（遺伝医学関連学会）との協議を受け、議論を続けている。できる限り多くの検査専門医に資格を付与すること、試験実施に伴う負担を軽減することを目的として、検査専門医資格更新の際にコンテンツの受講あるいはその他の手段をもって認定資格を付与する制度を検討している

27) 評議員審査委員会（委員長：大西宏明）

評議員で2025年1月1日付再任該当者を抽出し、委員会、理事会に再任予定者として報告した。また、該当者に再任手続きの書類を送付した。

28) 受験・更新資格審査委員会（委員長：金子 誠）

①2024年度日本臨床検査医学会臨床検査専門医、臨床検査管理医の受験希望者の受験資格について審査を行い、臨床検査専門医・管理医審議会に報告した。

29) 試験委員会（委員長：古川泰司）

①第4回日本専門医機構認定臨床検査専門医認定試験ならびに第41回日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定試験を8月4日東京大学で実施した。前者は13名、後者は3名が受験した。

②試験委員会・試験実行委員会合同の合否判定会議は同月21日東京大学・臨床検査部医局内で行い、試験運営、合否判定の運用について、問題がないことが確認された。合計15名が合格と判定された。

30) Subspecialty 検討委員会（委員長：吉田 博）

①『機構認定サブスペシャルティ領域「専門医の認定・更新」に関する整備指針』について、2024年度中を目安として改訂することが日本専門医機構理事会から報告された。サブスペシャルティ専門医更新基準が決まるまでは、1回目の更新を迎えるまでは従来の学会専門医制度における更新要件を基本とし、診療実績の確認やe-テストなどの追加で認める方針となった。

②日本専門医機構による第2回サブスペシャルティ領域専門医制度についての説明・意見交換会がオンライン様式で開催され、大西理事長と吉田委員長が出席した。

③内科学会を基本領域とするサブスペシャルティ領域専門医となっている感染症専門医については本学会においても相当数の会員が有しているため、機構認定の感染症専門医についても認定されるべく、本学会を感染症専門医の基本領域の一つとする願い書を内科学会に提出した。内科学会からは新制度への移行期について、専門医機構、内科学会、本学会を含めた基本領域学会および感染症学会が連携して取り組むとする回答があった。

④サブスペシャルティ専門医制度に限らず臨床研修制度に関係する多くの課題について日本専門医機構と協議する機会が増えていることから、サブスペシャルティ委員会を発展的に解消し、新たに専門医制度委員会として発足させることが常任理事会で認められた。

31) 2024・2025年度臨床検査専門医認定試験実行委員会（委員長：蔵野 信）

①第4回機構専門医試験、第41回臨床検査専門医認定試験は、東京大学本郷キャンパスにて8月4日（日曜日）に1日で執り行われた。

②機構専門医受験者13名、学会専門医受験者4名の申込があった。

③受験者1人より試験辞退の申し出があり、計16名が受験を行った。

④8月21日に東京大学本郷キャンパスにて行われた委員会判定会議では、機構専門医受験13名中合格13名、学会専門医受験3名中合格2名と判定された。

32) 2024・2025年度臨床検査管理医認定試験実行委員会（委員長：金子 誠）

①第16回臨床検査管理医講習・認定試験を9月15日（日）に実施した。40名の受験希望者のうち1名が欠席し、39名受験した。39名が合格となった

②欠席者1名については、あらたに受験申込が必要。

33) 日本専門医機構認定臨床検査専門医研修プログラム認定委員会（委員長：松下弘道）

①2025年度基幹施設の研修プログラムの一次審査認定を行い、日本専門医機構に二次審査依頼をした。更新申請0施設（5年目にあたる施設）、新規申請1施設、変更申請17施設であった。

34) 日本専門医機構認定臨床検査専門医更新資格審査委員会（委員長：金子 誠）

①2024年1月1日付の臨床検査専門医更新申請において、2022年から保留の2名も更新認定された。

②共通講習、領域講習の審査認定を実施した。

③研修・資格更新のQ&A拡充を継続する。

④2027年4月からの機構専門医資格更新では更新用テスト実施の内容や、専門医機構の方針で診療実績免除不可となるため、代替案を検討中である。

⑤指導医講習の定義を決定し、開催数増加を方針とした。

2. 第72回学術集会報告（千葉 2025/8/28(木)～8/31(日)、大西宏明 会長）

2025年8月28日(木)～31日(日)、千葉県幕張メッセにおいて、大西宏明会長(杏林大)のもと開催予定であり、運営事務局は(株)サンブラネットメディカルコンベンションが担当し、現地と一部オンデマンド配信を予定していることが報告された。

ただ、開催時期が8月下旬であるため、演題募集時期が例年より3カ月ほど前倒しで、2025年2月13日(木)～3月13日(木)の予定となる。委員会企画なども併せて協力依頼がなされた。

3. 第73回学術集会報告(千葉2026/12/17(木)～12/20(日)、吉田博 会長)

2026年12月17日(木)～20日(日)、千葉県幕張メッセにおいて、吉田博会長(慈恵医大)のもと開催予定であり、運営事務局は(株)サンブラネットメディカルコンベンションが担当し、例年より遅い時期の開催時期となることが報告された。

4. 機構第4回・学会第41回臨床検査専門医認定試験について(東京:2024/8/4(日))(大西宏明 理事長)

2024年8月4日(日)、東京大学医学部で第4回日本専門医機構臨床検査専門医および第41回日本臨床検査医学会臨床検査専門医認定試験を実施した。機構専門医受験希望者13名、学会専門医受験希望者(初回受験1名、再試験受験1名(別途1名は欠席)、更新復活のための遺伝子関連検査学、臨床検査総論の受験1名)が受験し、機構専門医13名、学会専門医初回受験1名、更新復活のための遺伝子関連検査学、臨床検査総論の受験1名が合格、学会専門医再試験受験1名は不合格だったことが報告された。

5. 第15回臨床検査管理医講習・認定試験について(東京:2024/9/15(日))(大西宏明 理事長)

2024年9月15日(日)、三井記念病院 講堂でにおいて、第16回臨床検査管理医 講習・認定試験を実施した。38名(別途1名は欠席)受験し、39名が合格したことが報告された。

6. 遺伝子関連検査認定医・専門医について(大西宏明 理事長)

遺伝子関連検査認定医・専門医については、遺伝子関連学会からの意見、その他、様々なことを勘案して臨床検査専門医に遺伝子関連検査の資格を追加付与するという方向に変更すること、そしてそれは2026年の更新時から開始する予定となったこと、詳細については遺伝子関連検査認定医・専門医アドホック委員会で検討中であることが報告された。

7. その他

特になし。

IV. 審議事項

1. 2024年度中間事業報告について(森兼啓太 総務理事)

2024年度中間事業報告がなされ、承認された。

2. 2025年度事業計画案について(森兼啓太 総務理事)

2025年度事業計画(案)の説明がなされ、承認された。

3. 2024年度会計中間実績・2025年度予算案について(大西宏明 理事長、吉田 博 会計理事)

2024年度中間実績:2024年1月1日～2024年6月30日の実際の収入と支出の実績額である。

2025年度予算案:収入、支出とも2023年度決算を参考に2024年度予算をほぼ踏襲しているが報告され、承認された。

4. 2025年度からの名誉会員・功労会員・社員(評議員)の推薦について(大西宏明 理事長)

1) 名誉会員として理事会で承認された次の6名が提示され承認された。

下正宗先生、福武勝幸先生、古川泰司先生、矢富裕先生、谷直人先生、小柴賢洋先生

2) 功労会員として各支部から推薦され理事会で承認された次の21名が提示され承認された。

紀野修一先生、幸村近先生、五十嵐雅彦先生、真里谷靖先生、木村聡先生、佐藤正一先生、東田修二先生、西堀真弘先生、古田耕先生、満田年宏先生、盛田俊介先生、矢内充先生、村田哲也先生、渡邊昌俊先生、尾鼻康朗先生、河野誠司先生、日野雅之先生、松永隆先生、大澤春彦先生、真治紀之先生、末岡栄三朗先生

3) 評議員（社員）として、各支部から推薦され理事会で承認された次の 21 名が提示され承認された。
生田克哉先生、田中信悟先生、荒岡秀樹先生、小飼貴彦先生、佐藤雅哉先生、中川央充先生、野上彩子先生、
春木宏介先生、白上洋平先生、井戸健太郎先生、岡野隆一先生、狩野春艶先生、中野正祥先生、川村良一先
生、坂本啓先生、高田康徳先生、眞鍋明広先生、茂久田翔先生、木村聡先生、國崎祐哉先生、久保田寧先生

5. 評議員の再任について（2024/01/01 付）（大西宏明 理事長）

2025 年 1 月 1 日付評議員再任予定者 27 名が提示された。再任手続きは、2024 年 12 月 27 日開催予定の評
議員審査委員会での審査後となるが、評議員再任には社員総会の承認が必要のため、本日の臨時社員総会の
承認を得ておきたい。ただし、再任の単位を満たさない場合は退任となることを前提のうえ、2025 年 1 月 1
日付の評議員再任予定者 27 名について承認された。

7. 第 74 回学術集会 会長の推薦について（大西宏明 理事長）

2027 年開催予定の第 74 回学術集会の会長として、理事会で承認された森兼啓太先生（山形大学）が提案さ
れ承認された。森兼先生から一言挨拶があり、2027 年 11 月に東北での開催を予定しているが仙台の会場は
改装中で予約不可だったため、宇都宮での開催を含めて模索していることが報告された。

森兼啓太総務理事より、2024 年度に係わる定時社員総会は、2025 年 3 月 29 日（土）に開催されることが報
告された。

V. 閉会（大西宏明 理事長）

大西宏明理事長から閉会の挨拶があり、臨時社員総会を閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

2025 年 1 月 27 日

一般社団法人日本臨床検査医学会臨時社員総会

議長 代表理事 大西宏明

議事録署名人 柳原克紀

2024年度 日本臨床検査医学会 総会だより

日時：11月30日（土）13：25～14：25（60分）

会場：グランキューブ大阪 3F イベント会場 BCD（第1会場）

〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島5丁目3-51

出席：約140名

冒頭、大西宏明理事長より挨拶があり、議事を進行した。

臨時社員総会と同じ内容の報告がなされた。

大西宏明理事長より、挨拶があり総会を閉会した。

総会終了後、国際学会奨励賞、学会賞・功労賞の授与、新功労会員、新名誉会員顕彰の表彰式が執り行われた。